

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年4月12日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年4月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【雑固体廃棄物焼却設備(A)焼却炉バーナーユニットからの軽油漏えいについて】 協力企業作業員が運転停止中の雑固体廃棄物焼却設備(A)において、焼却炉バーナーユニット軽油供給圧力減圧弁の下部に設置している軽油受けパンに、軽油が滴下していることを確認。 当該作業員が、減圧弁のガイドプラグ(※)に軽油の滲みを確認したことから、ガイドプラグを締め付ける方向に軽油の拭き取りをした際、プラグが外れ落下し、軽油が漏えいした。 その後、減圧弁の上流に設置の弁を閉とし、軽油の漏えいは停止。漏えいした軽油は回収済み。 調査を行ったところ、ガイドプラグは何らかの理由でねじ山が欠損しており、外れやすい状況であった。 消防署により「危険物漏えい事故」と判断され、当該設備の当面の間の運転を行わないよう指導を受けた。 今後、ねじ山が欠損した原因を調査し、再発防止対策を検討。</p> <p>※ガイドプラグ: 弁棒が所定の位置で動くようにする部品</p>	G II	4月8日